

第6章 自然と調和する住みよいまち 第6節 下水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成した。マンホール広告は「行革甲子園2020」の出場など、広く注目を集め、下水道をより身近に感じるイメージアップに貢献する事業となった。検針票広告は、継続して収入を得ることができた。	R2年度に改善した点 昨年年度作成した、営業活動用リーフレットをよりわかりやすく、お客様にとって親しみやすいものに修正した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	16. 平和と公平をすべての人に			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,491千円	937千円	①マンホール広告設置箇所数 ②マンホール蓋広告収益 ③イルミネーションマンホール蓋広告収益 ④検針票広告収益	①有料広告用デザイン入りマンホール蓋(イルミネーションマンホール蓋を含む)の設置箇所数	①マンホール広告は設置時期が異なり、収入額は不規則となるため設置箇所数	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	所沢市上下水道局マンホール広告の掲載に関する要綱 所沢市上下水道局印刷物広告の掲載に関する要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)										1,747千円	271千円
	事業の具体的な内容及び目的	下水道事業の資産を有効活用し、自主財源の確保により経営の活性化を図り、企業経営の健全化に努めるものである。 ①マンホール蓋を活用し企業等の広告を掲載 ②検針票等を活用した企業等の広告掲載	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.48人	0.00人	R1実績	27箇所							
	期間	H30～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	3,990千円	0.00人	R2実績	61(33)箇所							
	実績	①61箇所(うちマンホール蓋広告は33箇所) ②2,854千円 ③3,234千円 ④181千円	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.30人	0.00人	R2実績	61(33)箇所							
	目標達成	目標達成済	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	2,450千円	0.00人	R3実績	40箇所							
	評価者	経営課長 田島 幸雄	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.48人	0.00人	R3実績	40箇所							
	どのように貢献したか	掲載期間が終了するお客様への、期間延長の営業活動。新たな広告設置場所の調査。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.30人	0.00人	R3実績	40箇所							
	SDGsへの貢献	下水道事業の健全な経営のための経済的活用。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.30人	0.00人	R3実績	40箇所							
経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、ところざわサクラタウンの開業が遅れたが、7月末に設置を完了した。日本初となるイルミネーションマンホール蓋広告は、設置後から多くの注目を集め、遠方から多くの方が現地へ赴き、AFP通信や、ロイター通信など、国内外から注目を集めた。本取組は収益向上の役割を果たし、新たな観光スポットの創出や地域防犯等に貢献した。	R2年度に改善した点 (株)KADOKAWA主催の報告会で点灯式を行い、参道プロジェクトや広報紙とところざわ水物語令和2年度冬号で特集し、周知を図った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 16. 平和と公平をすべての人に			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	71,952千円	67,860千円	①設置箇所数 ②収益	有料広告用デザイン入りマンホール蓋(イルミネーションマンホール蓋を含む)の設置箇所数	設置箇所数により、事業の進捗が確認できるため。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)										1,933千円	897千円
	事業の具体的な内容及び目的	上下水道局の公有財産であるマンホール蓋について、発光するマンホール蓋(イルミネーションマンホール)を開発し、有料広告事業の拡大を図るものである。 当該マンホールについては、夜間でも道標としての機能を発揮するため、令和2年度にオープンする「ところざわサクラタウン」から東所沢駅までの歩道上に設置する予定であることから、当面、株式会社KADOKAWAを契約の対象として、新たな財源の確保に努める。 なお、当該マンホールの電源はソーラーパネルより得ることとし、マチごとエコタウン所沢に配慮した仕様とする。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.23人	0.00人	R1実績	0箇所							
	期間	R1～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	1,912千円	0.00人	R2実績	28箇所							
	実績	①28箇所 ②3,234千円	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.48人	0.00人	R2実績	28箇所							
	目標達成	目標達成済	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	3,921千円	0.00人	R3実績	28箇所							
	評価者	経営課長 田島 幸雄	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.48人	0.00人	R3実績	28箇所							
	どのように貢献したか	維持管理において、即応可能な体制を構築し、適切な対応を図る。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.48人	0.00人	R3実績	28箇所							
	SDGsへの貢献	点灯するための電力を太陽光発電にて賄っている。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.48人	0.00人	R3実績	28箇所							
経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	「読んで得する・知って得する」をコンセプトに令和元年度に発行した広報紙は、わかりやすく上下水道事業を知っていただく契機となった。市のイメージマスコットである「トコロん」の4コマ漫画の連載により、親しみやすい紙面とすることができ、また、多くの利用者から、反響を頂き、積極的な広報活動に理解を得ることができた。	R2年度に改善した点 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、委託業者との調整が困難なことから、8月に発行する夏号は掲載内容を縮小し、発行ページ数を半減の4頁とした。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	4. 質の高い教育をみんなに 10. 人や国の不平等をなくそう			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,394千円	3,282千円	①発行回数	広報紙の発行回数	8月発行は、所沢の水道クイズと、調整池の役割を中心に、12月発行は、イルミネーションマンホールと決算のお知らせを中心とした情報を利用者に提供するため、年に2回の発行を目標とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)										4,511千円	3,314千円
	事業の具体的な内容及び目的	上下水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより、利用者の理解と協力が得られるように「事業の見える化」に努め、公営企業として経営健全化等を図るものである。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.53人	0.00人	R1実績	2回							
	期間	R1～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	4,405千円	0.00人	R2実績	2回							
	実績	①2回	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.50人	0.00人	R3実績	2回							
	目標達成	目標達成済	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	4,084千円	0.00人	R3実績	2回							
	評価者	経営課長 田島 幸雄	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.50人	0.00人	R3実績	2回							
	どのように貢献したか	R3年度は発行頁数を8頁に戻し、11月実施の「マンホールサミット」を特集する。加えて効果的な周知のため、夏号発行を8月からイベント直前の10月に変更する。また、「トコロん」の4コマ漫画に登場する「所沢すずく」を局マスコットキャラクターとして活用するため、著作権の取得を行う。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.50人	0.00人	R3実績	2回							
	SDGsへの貢献	年2回発行し、下水道の仕組みや大切さについて、紹介した。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.50人	0.00人	R3実績	2回							
経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	R2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期したためC評価とした。 ※令和2年度決算額(331千円)については、サミットの企画運営に係る費用を一部執行したため。	R2年度に改善した点 R2年度開始事業のため、改善点はない。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	4. 質の高い教育をみんなに 10. 人や国の不平等をなくそう			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①来場者数	①来場者数	来場者数が下水道事業の「見える化」を図った対象として考えられる。過去のマンホールサミット開催実績より、来場者見込を7,000人とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	—	R2予算現額	R2決算額(見込み)										8,868千円	331千円
	事業の具体的な内容及び目的	市制施行70周年と「ところざわサクラタウン」がオープンする記念すべき年に、下水道施設の跡地に建設される「ところざわサクラタウン」を会場として、市はもとより国内外の幅広い層に、日本が世界に誇れる文化物であるマンホール蓋の魅力を発信し、下水道の役割を伝える「見える化」を推進し、下水道事業全体のイメージアップにつなげることを目的とする。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.00人	0.00人	R1実績	-							
	期間	R2～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0千円	0.00人	R2実績	-							
	実績	①0人	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.70人	0.00人	R2実績	0人							
	目標達成	目標達成済	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	5,718千円	0.00人	R3実績	7000人							
	評価者	経営課長 田島 幸雄	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.70人	0.00人	R3実績	3500人							
	どのように貢献したか	R3年度は、コロナ禍においても実施可能な代替案を研究し、準備を進めていく。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.70人	0.00人	R3実績	3500人							
	SDGsへの貢献	開催延期のため実績なし。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.70人	0.00人	R3実績	3500人							

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も施工する箇所の選定を的確に進め浸透化を実施していく。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	53,500千円	52,291千円	①道路雨水樹浸透化	完了箇所数	完了箇所が増加することで目標達成の成果が把握できるので、完了箇所数を指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②雨水浸透井築造											
	下水道法、都市計画法	45,923千円	44,418千円	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	①120箇所 ②2箇所	①120箇所 ②2箇所	目標達成済								
	近年、都市化の進展やゲリラ豪雨の増加で下水道による雨水排水が困難な状況となっていることから、市内各所で内水被害が発生している。そこで、内水被害の軽減を図るため、埼玉県と本市にて河川・下水道事業調整協議会を設立して協議を重ね、雨水を地下に浸透させることで雨水流出を抑制し、浸水被害を軽減する道路雨水樹浸透化等を進めるものである。	3.29人	0.00人	①120箇所	①120箇所 ②1箇所	①120箇所 ②1箇所									
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②1箇所	R2目標	R2実績										
H30~R6	1.30人		③	R3目標	R3実績										
	10,618千円	0.00人		①210箇所 ②1箇所											
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。令和2年度は、マンホールの地震対策に加え新所沢地区内の雨水貯留施設5箇所の耐震診断業務委託を行った。	R2年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	164,800千円	133,716千円	①マンホールの地震対策	各年度のマンホール地震対策完了箇所数	中期計画(平成30年度~令和4年度)で定めたマンホール耐震化層箇所数25箇所のうち、各年度で設定した耐震化箇所数を目標指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②管渠の地震対策											
	下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策実施要綱	129,000千円	87,428千円	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	①3箇所	①3箇所	目標達成済								
	下水道は重要なライフラインであり、震災等により機能が停止した場合、排水不能や損壊による道路陥没が原因の交通事故や渋滞で物資供給が停滞するなど市民生活に甚大な影響を及ぼすことから、既存施設の地震対策を実施する。緊急輸送路や軌道下に埋設されている管渠やマンホールについて、補強・再構築工事を実施する。	1.90人	0.00人	①9箇所	R2目標	R2実績									
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②-	①9箇所	①9箇所										
H21~	1.52人	0.00人	③	R3目標	R3実績										
	12,415千円			①3箇所 ②197m											
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望は対応できている。外部情報を受けると直ちに現地確認を行い迅速に対応した。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	13. 気候変動に具体的な対策を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,084,558千円	1,877,251千円	①1年間に清掃した管渠延長	改善要望対応率	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等の改善要望件数に対し改善が完了した割合とする。全ての要望に対応する「100%」を目標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②1年間に取替えたマンホール蓋の個数											
	下水道法	2,331,831千円	2,211,274千円	③1年間に外部情報により実施したテレビカメラ調査箇所	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	④1年間に受けた改善要望件数	100.0%	100.0%	目標達成済								
	重要なライフラインである下水道を適切に維持管理し、その機能を発揮させ継続的に利用できる環境を整える。 ①土砂及び油膜の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃 ②老朽化している施設の更新 ③下水道施設から発生する臭気対策、不明管・浸入水等のテレビカメラを使用した原因調査 ④降雨災害防止のための対策及び監視 ⑤市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底	14.60人	0.00人	実績	R2目標	R2実績									
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①4,558m	100.0%	100.0%										
S33~	14.50人	0.00人	②579個	R3目標	R3実績										
	118,436千円		③53箇所	100.0%											
		0.00人	④78件												
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	定期的な調整池の除草・スクリーン清掃等を実施し、適切な維持管理と事故防止の徹底を図った。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	72,263千円	65,698千円	①1年間にしゅんせつした堆積土の量	調整池等の点検回数(除草・スクリーン清掃等)	調整池及び水路等の適切な維持のため、週1回のパトロールを実施することとし、年間50回を目標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②1年間に除草した面積											
	下水道法	71,277千円	59,502千円		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								
	事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	48回	60回	目標達成済								
	浸水のない快適な都市環境を保持し、市民の安全で快適な生活を守るため、都市下水路及び調整池を適切に管理する。 ①堆積土のしゅんせつ ②除草・樹木の剪定 ③施設の補修及び改良工事 ④降雨災害防止のための対策及び巡回	4.80人	0.00人	①420m³	R2目標	R2実績									
期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②68,410m³	50回	59回										
S45~	4.70人	0.00人		R3目標	R3実績										
	38,390千円			50回											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)															
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)															
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	企業	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	緊急度 I ないし II における改築延長の実施延長及び計画延長	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	13. 気候変動に具体的な対策を															
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		108,265千円	101,879千円										①改築延長 ②テレビカメラ調査延長	改築延長	R2目標値が未達成の理由・分析	平成29年度より改築事業を実施しているが、緊急度 I の延長870mは令和2年度で完了し目標指標を達成し耐用年数の延伸を図ることができた。	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう										
	根拠法令	下水道法 所沢市ストックマネジメント実施方針		R2予算現額	R2決算額(見込み)															実績	R1目標	R1実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	11. 住み続けられるまちづくりを					
	事業の具体的な内容及び目的	これまで「下水道長寿命化対策事業」として下水道管渠の改築を行ってきたが、下水道法改正により全ての下水道施設に対し適切な時期の点検並びに機能維持に必要な措置の明確化及び実施が義務付けられた。そのため、平成29年度に「所沢市下水道ストックマネジメント実施方針」を策定し、市内全域の下水道施設に対し、予防保全を中心とした計画的な維持管理や改築により、事業費の平準化を図るとともに下水道機能を持続的に確保するものである。		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合 非常勤特別職																R2目標	R2実績			目標達成済	令和2年度で緊急度 I の改築は完了し目標指標を達成した。今後は緊急度 II の改築事業と並行してマンホール蓋のストックマネジメント計画策定のため、市内設置の約46,000基のマンホール基本情報収集を進める。	どのように貢献したか		
	期間	H23～		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合																R3目標							予保全型の維持管理を行うことにより、下水管の老朽化に起因する道路陥没等の事故を未然に防ぐことが可能で、安全安心な街づくりに寄与すること。	
				4.22人	0.00人																245m	219m							
				35,077千円	0.00人																R2目標	226m							382m
				4.30人	0.00人																R3目標	718m							
				35,122千円	0.00人																①382m								
																					②30km								